

■第5回勉強会の概要

開催方法：集会形式（参加者：15名）・動画配信（再生回数：32回）
期 間：令和4年1月26日（水）～2月11日（金）
※2月9日に津久戸小学校にて集会形式の勉強会を開催

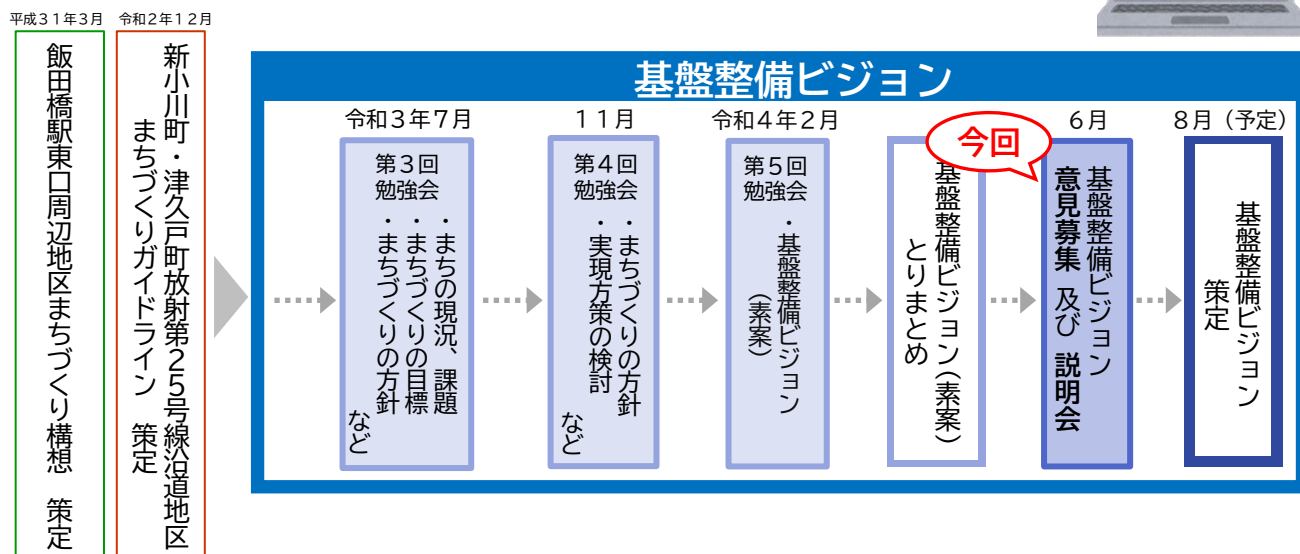
■第5回勉強会での主なご意見

- ・【意見】駅の近くに避難所を整備しても帰宅困難者でいっぱいになると思うので、地域住民の安全を確保できる場所が欲しい。
- 【回答】地区の防災性の向上について、大規模開発の機会を捉えて適切に誘導していきたい。ご意見を踏まえ、本ビジョンへの記載も検討する。
- ・【意見】安全で快適に徒歩で地下鉄駅に接続できる交通ネットワークを検討してほしい。
- ・【意見】公共空間は、災害時だけでなく居住者の憩いの場・イベント利用のための空間など幅広い利用価値があり、必要性が高い。新たなまちづくりにおいては、公共空間を整備していくことが重要な目的であるだろう。

ご意見・ご来場ありがとうございました。

■基盤整備ビジョン策定までの経緯

これまで、3回の勉強会を通じてまちづくり方針に関する検討を行い、令和4年8月に基盤整備ビジョンを策定することとなりました。



■説明会【動画視聴会】の開催に係る注意事項

- ・事前の体温測定や体調管理にご協力ください。発熱や体調不良を感じる場合は動画視聴会への出席はご遠慮ください。
- ・マスクの着用及び咳エチケットの徹底、手指消毒にご協力をお願いします。
- ・動画視聴会出席者の中から新型コロナウイルス感染症の感染者や感染の疑いがある方が発生した場合は、保健所等の公的機関への情報提供を行うことがあります。ご了承ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況の推移等により、急遽開催を中止させていただくことがあります。中止の場合は、事前予約の際に頂いたご連絡先にお知らせいたします。



【問合せ先】 ご意見・ご質問等ございましたら下記までご連絡下さい。
新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課 担当：河森、中戸、多久田
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
電話：03-5273-3569（直通） FAX：03-3209-9227

飯田橋駅前地区

まちづくりニュース 第8号

令和4年6月

【発行】新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課

基盤整備ビジョン（素案）への意見募集を行います！

新宿区は飯田橋駅前地区のまちづくり方針を示す「（仮称）飯田橋駅前地区基盤整備ビジョン（以下「基盤整備ビジョン」）」の策定に向けて検討を行ってきました。

策定にあたり意見募集を行うとともに、説明会を開催いたします。皆さまのご意見・ご参加をお待ちしております。



■意見募集期間

令和4年6月10日（金）～ 6月24日（金）

■基盤整備ビジョン（素案）資料及び説明動画の案内

説明会の資料と説明動画を区のホームページに掲載します。
http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/keikan01_000001_00031.html

配信期間 令和4年6月5日（日）8:30～ 6月24日（金）17:00

■意見提出方法

書面等にご意見及び必要事項（氏名・住所・利害関係等）をご記入の上、以下（1）～（4）の方法より提出してください。（4）をご利用の場合は、件名に「飯田橋駅前地区基盤整備ビジョンについて」とご記入ください。

- （1）郵送：【宛先】〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号 新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課
- （2）FAX：【FAX番号】03-3209-9227
- （3）窓口：本庁舎8階4番窓口（景観・まちづくり課）へ持参
- （4）区ホームページ：以下のパブリック・コメント用「意見・問合せ」フォームに入力
<https://www.faq.city.shinjuku.lg.jp/op/PublicCommentInput.aspx>

■説明会【動画視聴会】の開催概要

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、来場者の方々の密集を避けるため、事前予約制とさせていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 令和4年6月17日（金）
① 14:30～15:30
② 18:30～19:30

予約制

会場 牛込筆筒地域センター4階
バラA、バラB（住所：筆筒町15）

予約受付 4ページの【問合せ先】まで電話・FAXにてお申し込みください。
※開催一回当たりの定員は30名

【受付期間】

令和4年6月15日（水）17:00まで

※手話通訳の必要な方は、6月10日（金）までにご連絡ください。



FAXの場合は、書面冒頭に「飯田橋駅前地区 基盤整備ビジョン説明会 参加申込」とご記載の上、ご住所・お名前・ご連絡先・ご希望の時間帯をご記入ください。

飯田橋駅前地区基盤整備ビジョン（素案）（抜粋）

基盤整備ビジョン策定説明会では、以下の「まちづくりの目標と方針」、「将来像実現のための方策」を中心にご説明いたします。皆さまのご意見をお待ちしております。

まちづくりの目標 『歴史と暮らし・賑わいが多層に重なり合い 誰もが快適に過ごせる水とみどりの飯田橋』 ～住む人・働く人・訪れる人など、子どもから高齢者まで誰にとっても快適なまち～

交通基盤
多層に行きかうことができる安全で快適な歩行者空間の形成（基盤整備ビジョンP.12,13）

方針1 地区内及び周辺地域との連携による回遊性の強化

主な取組方策

- ・五差路における、歩道橋の機能更新（バリアフリー化など）
- ・歩道と敷地が一体となった、ゆとりある歩行者空間の整備 など

方針2 駅とまちをつなぐ、安全で快適な歩行者空間の整備促進

主な取組方策

- ・高低差を解消する、地上・地下・デッキレベルでの歩行者空間の整備
- ・地上・地下・デッキレベルの歩行者空間を相互につなぐ縦動線の整備

方針3 ユニバーサルデザインに配慮した、まちの顔となる印象的な滞留空間の整備促進

主な取組方策

- ・五差路付近などにおける、多層に繋がる印象的な滞留空間の整備
- ・駅前の滞留空間における、地下鉄駅へつながる縦動線の整備

ペDESTリアンデッキ（大崎駅）

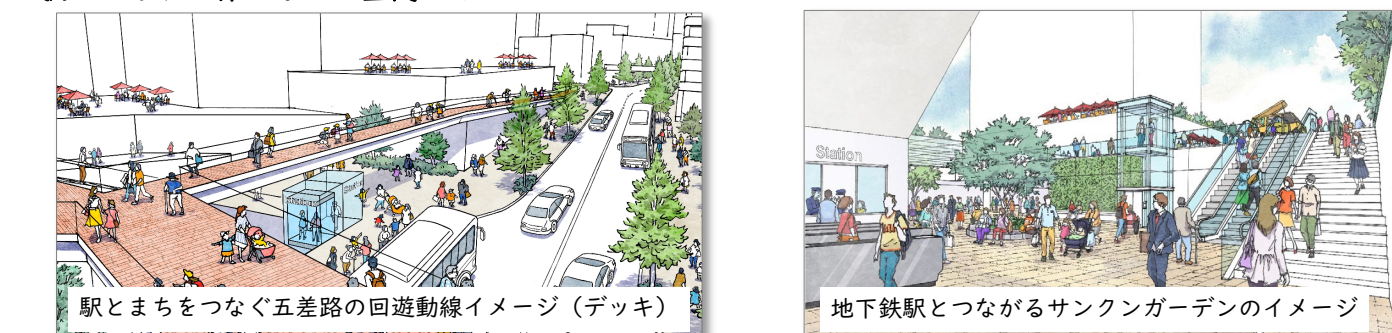
ユニバーサルデザインに配慮した動線（新宿駅東南口）

地下鉄駅へつながるサンクンガーデン（御茶ノ水ソラシティ）

交通基盤の整備イメージ（基盤整備ビジョンP.15）



駅とまちが一体となった空間のイメージ（基盤整備ビジョンP.14）



公共的空間
多層に繋がる賑わいと潤いあふれる空間の創出（基盤整備ビジョンP.16,17）

方針1 外濠や神田川などと連続したみどりの創出

主な取組方策

- ・オープンスペースなどにおける、緑量のあるまとまったみどりの整備
- ・季節を感じられる変化に富んだ、質の高いみどりの整備 など

方針2 歴史的資源と調和した賑わいのある街並みの形成

主な取組方策

- ・落ち着いた色彩、歴史を偲ぶ外構など、神楽坂や外濠と調和したデザイン
- ・人々の活動が感じられる開放的な設えなど、賑わいある街並みの形成 など

方針3 多機能で誰もが使いやすいオープンスペースの整備促進

主な取組方策

- ・多目的に利用できる規模を備えた広場の整備
- ・休憩などにも利用できる大小様々な規模の滞留空間の整備 など

まとまったみどりの整備（コモレ四谷）

牛込見付を思わせる石垣（飯田橋サクラテラス）

まちの機能 利便性を活かした都市機能の充実（基盤整備ビジョンP.18,19）

方針1 住・商業・業務の調和した賑わいの創出

主な取組方策

- ・賑わい施設の整備（商業施設、文化施設、地域交流施設等）
- ・多様なニーズや変化に対応した良質なオフィス・住宅の整備
- ・健康長寿社会に対応した機能（総合病院等）や宿泊機能の整備

方針2 適切な駐車場・駐輪場の整備促進

主な取組方策

- ・地域の賑わいに配慮した集約駐車場や共同荷捌き場の整備
- ・自転車利用者の利便性に配慮した駐輪場やシェアサイクルポートの整備

方針3 建物更新等による防災性の向上

主な取組方策

- ・震災時の安全で円滑な交通の確保に向けた無電柱化の整備
- ・帰宅困難者を対象とした一時滞在施設や、一時滞留スペースの整備 など

方針4 ゼロカーボンシティの実現に向けた、環境に配慮した取組の促進

主な取組方策

- ・太陽光発電、バイオマス発電などの最先端技術の導入
- ・高効率機器、コージェネレーション設備、建物の高断熱化、ZEBなどの導入

都市の賑わい空間（富山グランドプラザ）

共同荷捌き場（新宿駅東口地区荷さばき集約化プロジェクト）

無電柱化された道路空間（コモレ四谷）

将来像の実現に向けて（基盤整備ビジョン 第4章-1 P.20）

段階的なまちづくりの推進

- ・地域住民等が主体となり、まちづくりを段階的に進めていくことで、基盤整備ビジョンの実現を図ります。
- ・駅とまちをつなぐ歩行者ネットワークの起点となる「駅直近ゾーン」では、主に大規模開発を想定し、飯田橋駅周辺の基盤整備などを行うとともに、駅前にふさわしい賑わい拠点の形成を促進していきます。駅直近ゾーンにおける基盤整備により、地区内及び地区周辺との回遊性が強化され、賑わいの創出や防災性の向上等の効果が期待されます。
- ・飯田橋駅前地区全体では、大規模開発のほか、個別建て替えや任意の共同化など、まちづくりの手法に応じて、基盤整備ビジョンに示す将来像の実現を目指します。
- ・開発計画の具体化や合意形成が図られた地区について、段階的に地区計画の変更等を行っていきます。

段階的なまちづくりのイメージ

